皆殺しの天使（1962）

EL ANGEL EXTERMINADOR
THE EXTERMINATING ANGEL

メディア	映画
ジャンル	サスペンス　ドラマ　コメディ
製作国	メキシコ
色彩	B&W
時間	95分
初公開日	1981/08
公開情報	フランス映画社
リバイバル	2017/12/23［アイ・ヴィー・シー］

【解説】

より不条理に没入していく後期作品の魁ともなった、ブニュエルのメキシコ時代最大の問題作。貴族の館にパーティで集った名士たちが何故かそこから出られなくなり、人間の本能を剥き出し合って醜い争いを始めるという、痛烈なブルジョワ批判が込められている。十数人もいた召使たちが宴の支度を終えるや、執事フリオを残して、そそくさと立ち去った広大なノビレの屋敷。夫妻の招きで、オペラ帰りの客たち、歌手のシルビアやピアニスト、指揮者らが立ち寄って和やかな歓談が始まるのだが、それも束の間。なぜなら、誰一人として例外なくそこから帰れなくなってしまったのだ。ワルキューレと呼ばれる鉄の処女レシチア（Ｓ・ピナル）を狂言回しに、彼らの狂騒は醜悪を極め、何日も閉じ込められる中、食糧の奪い合いもあった。そして自分たちのお喋りが同じ繰り言だと気づいた後、脱出も叶うのだが……。館の中の彼らを心配して集まる親族や友人たち、軍隊までも出動しての“外部”と内側の騒乱の対比がおかしい。真に謎めいてエネルギッシュな、シュールレアリズム喜劇の怪作だ。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
原案	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
	ルイス・アルコリサ	Luis Alcoriza
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
撮影	ガブリエル・フィゲロア	Gabriel Figueroa
音楽	ラウル・ラヴィスタ	Raul Lavista
出演	シルヴィア・ピナル	Sylvia Pinal
	エンリケ・ランバル	
	ルシー・カジャルド	
	エンリケ・Ｇ・アルバレス	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.